

シーズ紹介

今年度、富山県立大学に着任された先生方をご紹介します。ご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。



教養教育
講師 植田 浩明
Hiroaki Ueda

●経歴

平成 22 年 3 月 京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了
平成 22 年 4 月～平成 27 年 3 月
首都大学東京、沖縄科学技術大学院大学等で研究員
平成 27 年 3 月～現職

●**研究分野** 磁性体やヘリウムは、アボガドロ数個（約 10^{23} 個）に及ぶ分子の集合とみることができます。このような多体系が極低温で示す、超流動などの巨視的な量子現象の理論的解析を行っています。

●**メッセージ** 量子力学が支配する不思議な現象は、極低温の磁性体やヘリウム等で実験室で実際に観測することができ、未だに新奇な現象が報告されています。また、新しい量子現象を新しい工学デバイスへ応用しようという試みも最近現れてきました。実験での新しい現象の理解、工学的応用の可能性を理論的に模索しています。



教養教育
講師 古澤 之裕
Yukihiko Furusawa

●経歴

平成 24 年 3 月 富山大学大学院医学薬学教育部・生命臨床医学専攻修了
平成 24 年 4 月～理化学研究所・特別研究員
平成 24 年 6 月～東京大学医科学研究所・特任助教
平成 26 年 4 月～慶應義塾大学薬学部・助教
平成 27 年 4 月～現職

●**研究分野** マイクロアレイや次世代シークエンサーによる、トランスクリプトーム・エピゲノム・メタゲノム等の解析手法を統合的に活用し、生命現象の全体像を解き明かすことを目標としています。現在は、特に慢性・急性疾患の治療を目的として、癌細胞のストレス応答機構や、免疫細胞の機能制御を分子レベルで解析しています。

●**メッセージ** 近年の工学の発展により生み出された解析装置や医療機器が、生命科学や臨床医学分野の発展の原動力となっています。工学分野の支持基盤を元に、基礎医学の立場から臨床応用へつながる成果を生み出していけるよう、邁進する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



機械システム工学科
講師 遠藤 洋史
Hiroshi Endo

●経歴

平成 19 年 3 月 東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了
平成 19 年 4 月～平成 20 年 11 月 物質・材料研究機構 博士特別研究員
平成 20 年 12 月～平成 22 年 3 月 名古屋大学工学部 特任助教
平成 22 年 4 月～平成 27 年 3 月 東京理科大学工学部 助教
平成 27 年 4 月～現職

●**研究分野** 表面・界面をデザインして材料の高機能化を図ることを研究目的としています。高分子化学およびコロイド界面科学を軸に、微細凹凸加工技術による表面機能化やナノ材料と高分子との複合化技術の開発に取り組んでいます。

●**メッセージ** ①微細リンクル加工技術および②2次元ナノシート機能化技術に関する研究を展開しています。①はゴム素材の表面座屈現象を利用した微細加工法であり、従来のフォトリソグラフィー技術等とは異なるボトムアップ技術です。②では酸化グラフェンへの高分子修飾を起点として、複合素材開発や触媒機能の探索を行っています。

